

八百津都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(概要版)

都市計画の目標

【都市の将来像】

人と自然が響き合い未来へ奏でる人道のまち やおつ

【都市づくりの基本理念】

- 豊かな生活の実現
- 活力ある地域づくり
- 良好な環境の創造

区域区分の有無

本区域においては、都市的土地利用の拡大の可能性が低く、区域区分によらなくとも良好な環境を有するコンパクトな都市を形成することが可能なことから、区域区分を定めません。

主要な都市計画の決定の方針

土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

住居系	<ul style="list-style-type: none">・(国) 418号沿道の既成住宅地では、狭あい道路の解消、新たな生活道路の整備等、基盤整備を推進し、住環境の向上を図ります。・木曾川右岸、左岸に広がる野上・伊岐津志地区においては、今後の人口、世帯数の変化、都市化の進展を見据えながら、ゆとりある居住空間を有する良好な住宅地として整備します。・必要に応じて、公園整備によるやすらぎ空間の創出、公共施設整備による利便性の向上を図ります。
商業系	<ul style="list-style-type: none">・商業・業務施設の立地等の際には、(国) 418号と(主)多治見白川線の交差点付近沿道の小規模店舗が集積する地区に誘導を図り、さらなる商業・業務施設の集積に努めるとともに、本区域の中心商業地区として必要な道路をはじめとする基盤整備を促進します。
工業系	<ul style="list-style-type: none">・既存の工業団地の生産機能の強化・維持のために必要な土地需要については、周辺の自然環境や住環境に配慮しながら、工業団地周辺の工業系土地利用を検討します。

都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

交通体系	<ul style="list-style-type: none">・広域交通網の形成を図るため、(都)東海環状自動車道の可児御嵩インターチェンジへの良好なアクセス条件を活かして、東西軸・南北軸の強化を図るとともに、本区域中心部においては、狭あい道路の解消等により道路網の強化を図ります。・高齢社会に対応するため、低床バスやデマンドシステムの導入等、地域に密着したバス路線網やバスシステムの導入を目指します。
下水道	<ul style="list-style-type: none">・公共用水域の水質改善及び生活環境の改善を目指すとともに、公共下水道の早期普及のために、将来的な土地利用の動向や地理的条件等に配慮しながら、普及率の向上に向けた計画・整備を推進します。
河川	<ul style="list-style-type: none">・関係機関との連携を図り、親水性、景観等に配慮し、護岸、その他関連施設の整備に努めます。さらに、流域全体の保水機能を維持又は向上させるため、開発者に対しては雨水流出抑制などの対策を実施する指導を図ります。・洪水調節及び発電機能の増強、流水の正常な機能の維持を目的として、既設の丸山ダムを嵩上げする形で新丸山ダムが建設中であり、事業の円滑な進捗と早期完成を目指すよう、関係機関に働きかけます。

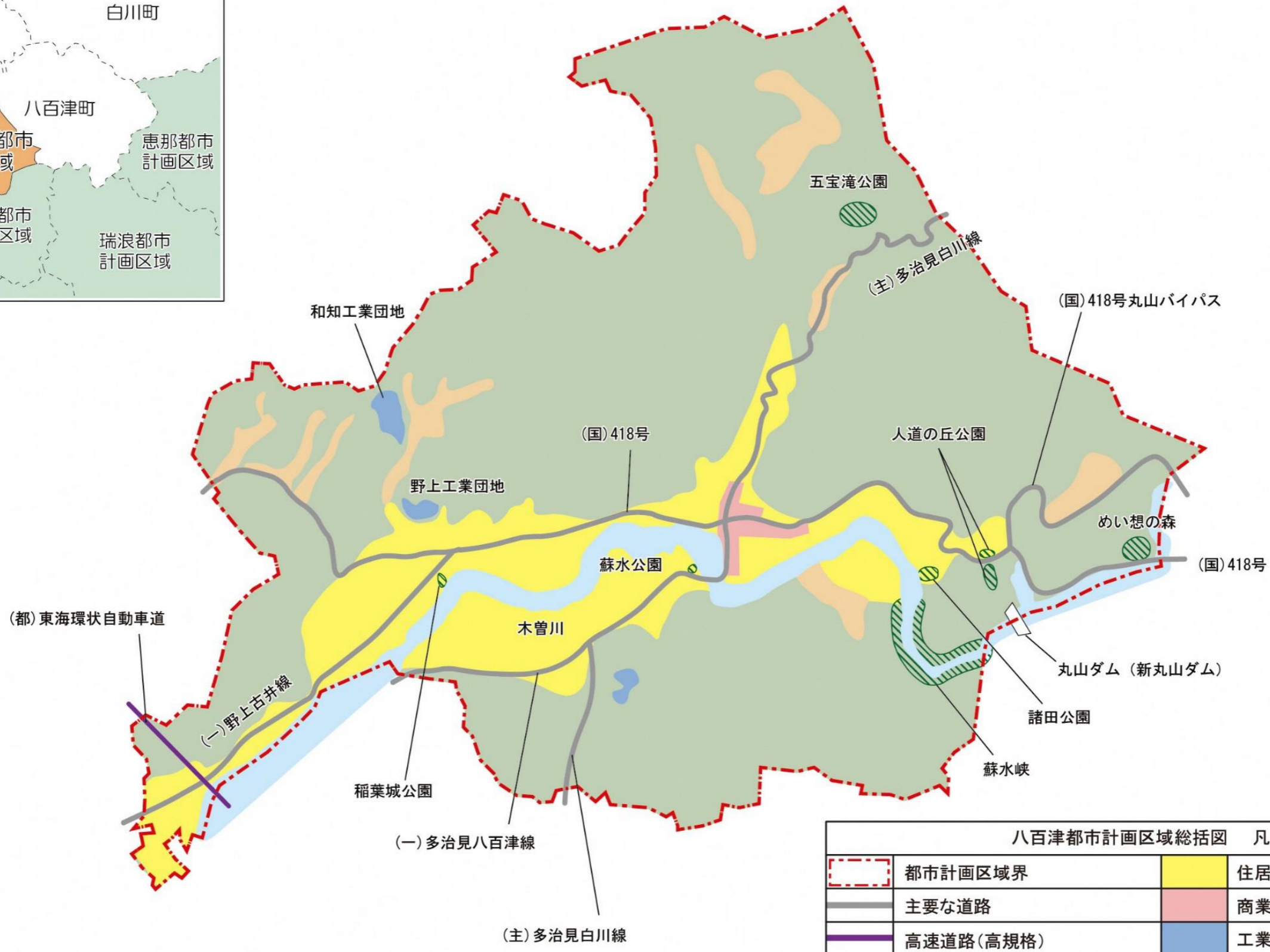
市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

- ・居住環境の確保、災害時における安全性の向上を図るため、狭あい道路の解消など、道路等の整備を推進します。

自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- ・豊かな水と緑を保全し、これらの緑と公園がさらに活用されるよう、遊歩道等の整備を図り、木曾川を中心とした水と緑のネットワークの形成に努めます。
- ・公園は、身近な遊び場、コミュニティ形成の場、そして災害時の避難場所として重要な役割を果たすものであるため、適正な配置・整備を検討します。

八百津都市計画区域 総括図



	都市計画区域界		住居系
	主要な道路		商業系
	高速道路(高規格)		工業系
	主要な河川		その他(農地、集落他)
	主要な公園・緑地等		その他(森林他)